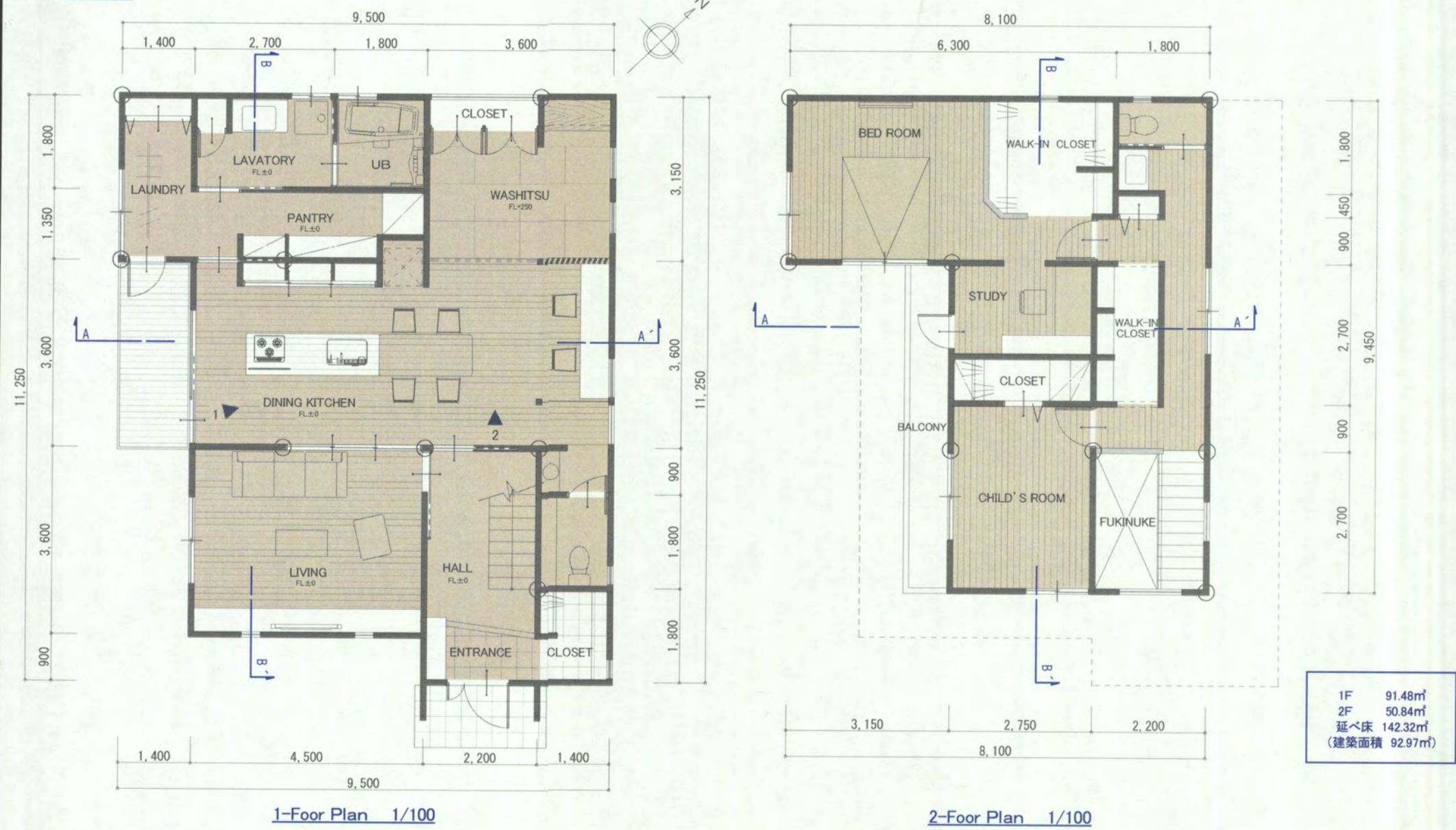


AFTER



perspective image



~data~

Model Family
30代共働き夫婦
子ども一人(低学年小学生)

■改修費

概算見積	
仮設・解体・基礎工事	210万円
木・建具(内外)・家具工事	1000万円
内装・畳・塗装工事	100万円
外装工事	340万円
電気・給排水工事	150万円
設備・照明工事	380万円
左官・外構工事	90万円
その他工事	30万円
Total (諸・税別)	2300万円

これからの高機能住宅 ~共働き&子育てFamilyが求めるもの~

CONCEPT

近年の家族形態は、共働き世帯の割合が専業主婦世帯に比べ過半数を超え、尚増加中です。名古屋のベッドタウンとして開発された高蔵寺ニュータウンは、これから家の購入を検討する30代前後の共働き世帯にとって、魅力あるエリアとなることと期待しております。そんな30代共働き&子育て世帯をターゲットとした「これからの高機能住宅」を提案します。

共働きを続ける為には、家事と子育ての両立が絶対条件になります。そんな働きやすい住宅環境を整えることこそが、「これからの高機能住宅」の実現には不可欠です。その中で重要視した点は3つあります。

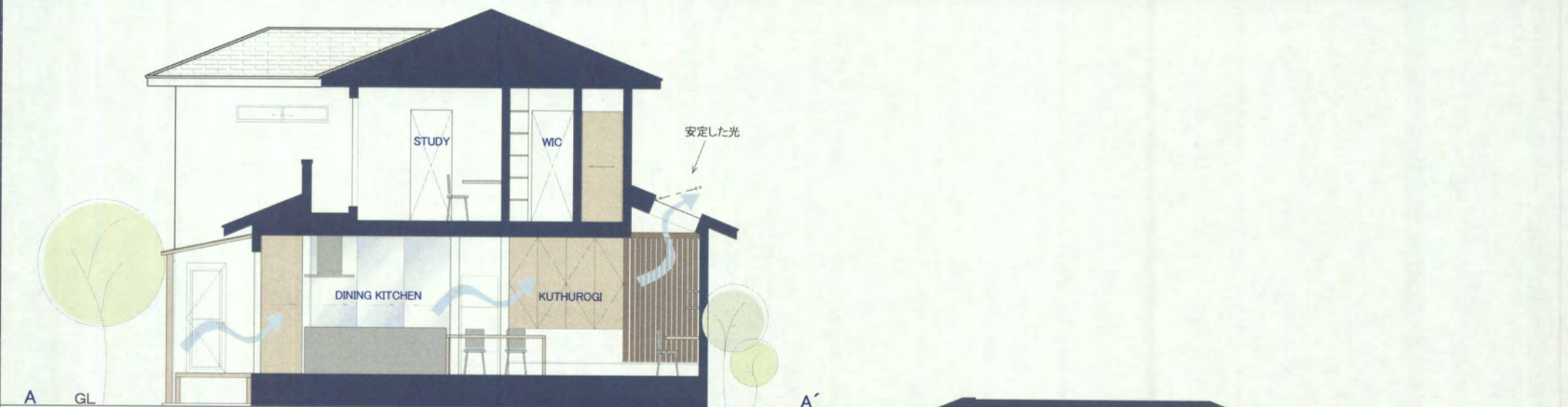
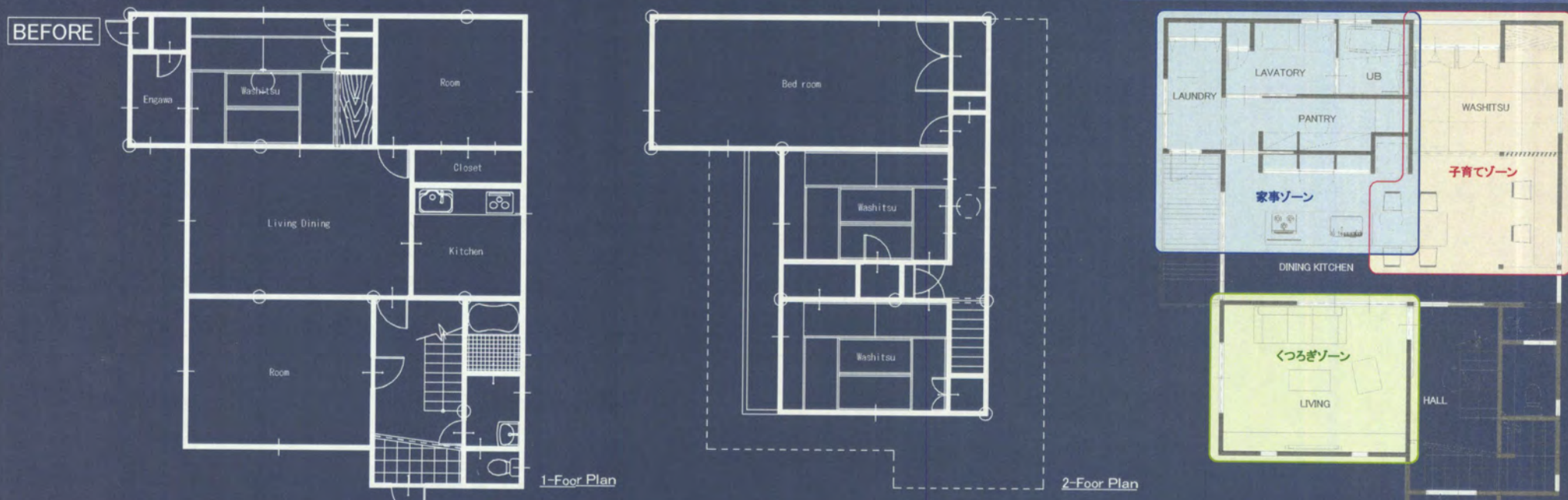
第一に、最重要視したランドリースペースです。大きくスペースを取るとはいうことではなく、一番最適なエリアに配置すること、専用のスペースがあるということが重要と考えました。ランドリースペース重視の訳は、このごろよく目にする部屋干し洗剤とコインランドリーの増加で説明できます。なぜなら、共働きという多忙な生活において、日々天候で頭を悩ますことは大きなストレスになるからです。その解決策として室内干しが挙げられますが、従来の部屋干しにおける不快感を解消する為の部屋干し専用洗剤が売れていることこそがその証拠です。またコインランドリーで週末にまとめて洗濯から乾燥まで仕上げる家庭も増えています。特に最近では、花粉やPM2.5といった有害物質の増加も部屋干しの増加の一因となっていることを見逃ごせません。上記の点から、近い将来ターゲット世帯においてランドリースペースの需要は確実に上昇が見込まれることと思います。

第二に、ラクラク家事動線と、パパッと隠せる収納の充実です。日々時間に追われる生活の改善に必要なのは、コンパクトにまとめられた家事動線と雑多なものを一気に隠すことが出来る豊富な収納です。家事の中で特に長時間を過ごすキッチンのバックスペースにすべての家事動線を集め、その中にパントリー兼物入や、前述のランドリースペースも集約してしまうことで、高機能家事エリアが完成されます。物干しはもっぱら2階バルコニーに干すことが多いですが、そんなわずらわしさもなくなります。

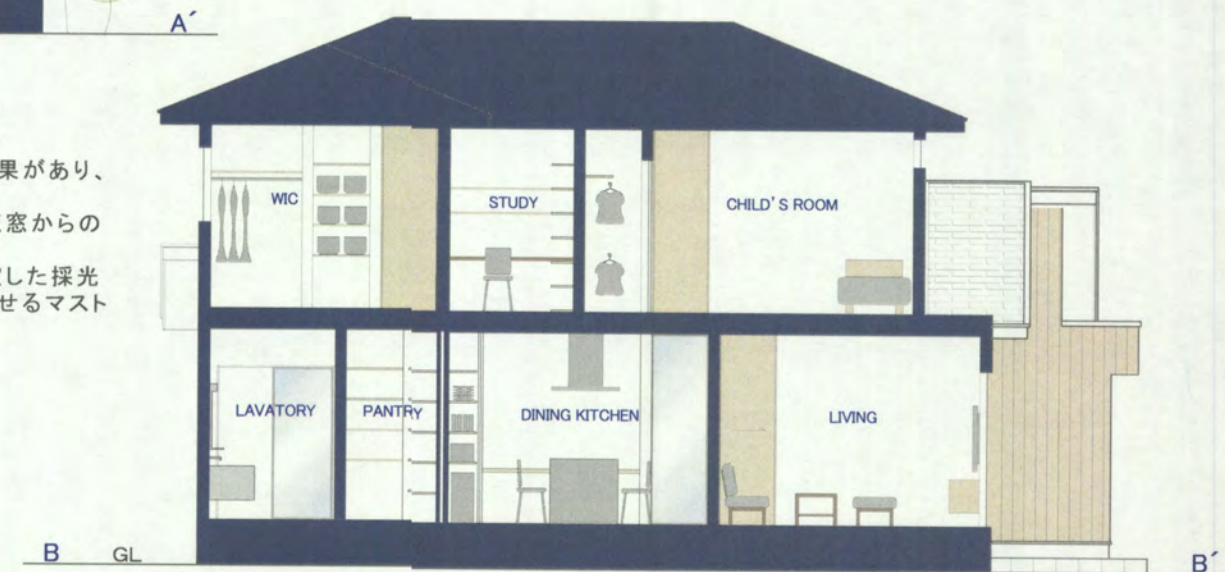
第三に、子どもに目の行き届く子育て住宅であることです。今、注目されているリビング学習は子育てママの必須になりつつあります。そんなスタディーコーナーを家事しながらでも見られるエリアに確保し、さらにお昼寝やキッズスペースとして多機能に利用できるスペースを家事空間に隣接することで、安心の子育てが可能になります。

2階にはそれぞれプライベート空間を確保しつつ、1階には家事ゾーン、子育てゾーンを効率良く整えることで、一日の中で、仕事と子育てという二つの役割を終えた後の大人の時間を過ごすくつろぎゾーンとしっかり区別しゾーニングすることで、「これからの高機能住宅」が完成されます。

1-Floor ゾーニング



北側に天窗を設置することで、自然に空気の流れを生み出すドラフト効果があり、南窓から入った風が北天窗より抜ける設計になっています。風通しの良い設計は、夏場冷房の使用を減少させることが出来、また天窗からの日差しのおかげで、冬場の暖房抑制にも繋がります。もう一つの特徴として、北天窗は直射日光を気にせず、かつ一日中安定した採光を確保できます。日中照明を使用することがなく、エコな暮らしを実現させるマスターアイテムです。



屋根の形状を和風の入母屋からスッキリとしたイメージの寄棟にし、さらにカラーベストに葺き替えることで軽量化を図ります。